

2021年闘争関連経済諸指標（その2）…3月1日訂正版

2021年2月15日 金属労協政策企画局

*2020年10～12月期の実質GDP成長率は、前年比マイナス1.2%となり、マイナス幅が大幅に縮小した。前期比でも、7～9月期に比べればやや鈍化したものの、プラス3.0%（年率プラス12.7%）の大幅拡大が続いている。

実質GDP成長率の推移（前年比）

目	2018年度	2019年度	2019年			2020年				同寄与度
	平均	平均	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
国内総支出	0.3	△ 0.3	0.6	1.3	△ 1.1	△ 2.0	△ 10.3	△ 5.8	△ 1.2	
内 需	0.4	△ 0.1	1.1	1.9	△ 1.5	△ 1.7	△ 7.1	△ 5.4	△ 1.2	
同 寄与度	0.4	△ 0.1	1.1	1.9	△ 1.6	△ 1.7	△ 7.2	△ 5.4	△ 1.2	△ 1.2
個人消費	0.2	△ 1.0	0.4	0.9	△ 2.4	△ 2.7	△ 11.1	△ 7.3	△ 2.4	△ 1.3
住宅投資	△ 4.9	2.5	5.9	6.1	2.4	△ 4.0	△ 5.0	△ 10.5	△ 8.7	△ 0.3
設備投資	1.0	△ 0.6	△ 0.3	4.9	△ 4.5	△ 2.0	△ 8.1	△ 10.8	△ 2.8	△ 0.4
政府消費	1.1	2.0	1.9	2.6	2.2	1.4	1.4	3.3	4.8	0.9
公共投資	0.8	1.5	△ 1.3	1.3	4.2	1.4	4.7	3.8	4.7	0.3
外需(輸出-輸入)										
同 寄与度	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.6	0.5	△ 0.3	△ 3.2	△ 0.4	△ 0.0	△ 0.0
輸 出	2.1	△ 2.6	△ 2.0	△ 0.4	△ 2.0	△ 6.0	△ 22.0	△ 15.4	△ 6.2	△ 1.1
輸 入	2.8	△ 1.3	0.7	2.9	△ 4.5	△ 4.0	△ 3.9	△ 12.9	△ 6.2	1.1
(参考)										
国内総支出 前期比			0.1	0.2	△ 1.8	△ 0.6	△ 8.3	5.3	3.0	
同 前期比年率			0.3	0.7	△ 7.1	△ 2.2	△ 29.3	22.7	12.7	
個人消費 前期比			0.4	0.5	△ 3.1	△ 0.6	△ 8.4	5.1	2.2	

資料出所：内閣府「国民経済計算」

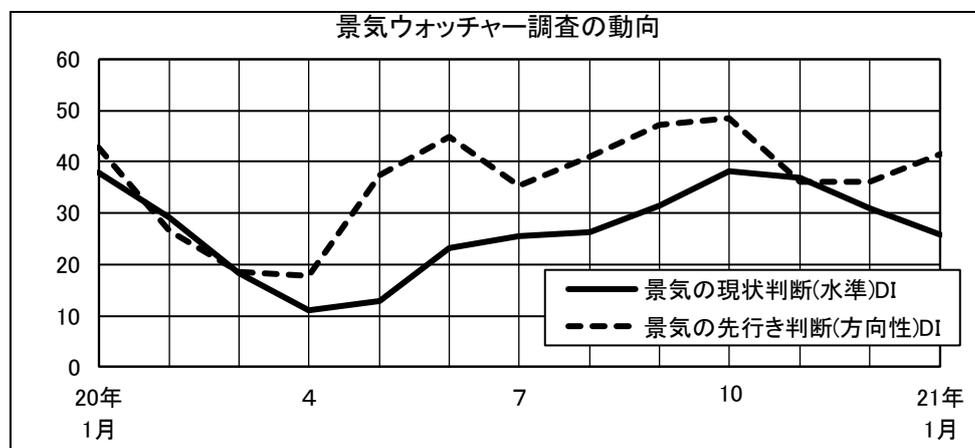
*2021年2月時点（2020年10～12月期発表前）の経済見通し（民間調査機関平均）は、1月時点に比べ、2020年度はマイナス5.46%からマイナス5.29%へ、2021年度はプラス3.31%からプラス3.49%へ、それぞれ上方修正となった。

2020年度・21年度経済見通し

項 目	2019年度実績	2020年度見通し					2021年度見通し				
		政府		日 銀	民間調査機関平均		政府		日 銀	民間調査機関平均	
		2020年12月	2021年1月	2020年12月	2021年1月 2月		2020年12月	2021年1月	2020年12月	2021年1月 2月	
名目GDP成長率	0.5	△ 4.2		△ 4.63	△ 4.76	△ 4.61	4.4		3.40	3.29	3.40
実質GDP成長率	△ 0.3	△ 5.2	△ 5.6	△ 5.37	△ 5.46	△ 5.29	4.0	3.9	3.42	3.31	3.49
同 内需寄与度	△ 0.1	△ 4.0		△ 4.1	△ 4.2	△ 4.2	3.3		2.6	2.5	2.3
同 外需寄与度	△ 0.2	△ 1.2		△ 1.3	△ 1.3	△ 1.1	0.7		0.8	0.9	1.1
消費者物価上昇率											
総合	0.5	△ 0.6					0.4				
生鮮食品を除く総合	0.6		△ 0.5	△ 0.46	△ 0.48	△ 0.45		0.5	0.21	0.16	0.14
失業率	2.3	3.1		3.07	3.03	2.99	2.7		3.11	3.10	3.09

資料出所：内閣府、日本経済研究センター

*景気ウォッチャー調査・景気の現状判断（水準）は、2020年10月にはコロナ発生前の水準近くまで回復していたが、その後、感染の再拡大、2回目の緊急事態宣言発令により、3カ月連続で悪化し、2021年1月には25.7とほぼ2020年7月と同水準まで低下した。しかしながら、景気の先行き判断（方向性）では、底打ちの状況となっている。



資料出所：内閣府資料より金属労協政策企画局で作成。

*アルバイト・パート募集時平均時給の上昇率は、2020年11月に前年同月比0.3%に鈍化していたものの、その後、再び拡大してきており、2021年1月には0.7%となっている。

アルバイト・パート募集時平均時給調査（2020年）

項目・エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月
平均時給（円）													
北海道	950	949	961	958	974	981	973	973	982	989	1,005	1,019	1,012
東北	960	934	939	972	966	959	969	976	972	972	966	981	977
北関東	963	959	959	950	953	955	966	959	956	971	966	972	969
首都圏	1,130	1,127	1,130	1,122	1,116	1,127	1,131	1,130	1,139	1,136	1,145	1,150	1,145
甲信越・北陸	949	951	950	960	941	947	951	956	963	963	975	970	969
東海	1,003	1,002	1,000	1,003	996	1,004	1,004	1,005	1,004	1,003	1,003	1,010	1,007
関西	1,050	1,045	1,051	1,052	1,054	1,057	1,053	1,061	1,066	1,066	1,066	1,085	1,078
中国・四国	956	952	948	946	957	951	943	945	949	951	959	959	961
九州	931	927	926	924	933	933	925	930	938	941	936	949	948
全国	1,048	1,044	1,044	1,037	1,040	1,047	1,043	1,045	1,050	1,049	1,051	1,059	1,055
前年比（%）													
北海道	2.9	3.0	3.9	3.2	5.2	5.6	4.6	4.7	5.1	4.7	5.8	6.3	6.5
東北	3.9	1.3	2.6	5.7	4.9	3.2	4.1	4.3	4.5	3.8	2.4	3.4	1.8
北関東	2.7	2.2	2.8	1.5	1.4	1.3	1.8	1.2	0.8	1.8	1.3	0.9	0.6
首都圏	3.8	3.3	3.9	2.8	2.2	2.9	2.4	2.1	2.9	1.3	1.1	1.1	1.3
甲信越・北陸	1.6	1.8	2.3	3.0	0.9	0.7	0.6	0.3	1.3	0.3	1.6	1.5	2.1
東海	2.3	2.3	1.8	1.7	0.8	1.6	1.8	1.1	1.1	0.2	△ 0.5	0.1	0.4
関西	3.4	3.0	3.9	3.7	3.2	3.0	2.3	2.7	3.2	2.4	1.5	2.6	2.7
中国・四国	2.8	2.7	2.8	2.5	3.3	2.4	1.5	1.2	1.2	0.8	1.1	0.7	0.5
九州	2.6	2.4	2.8	2.1	2.6	2.1	1.3	1.5	2.2	1.8	0.9	1.7	1.8
全国	3.1	3.0	3.4	2.2	2.2	2.4	1.8	1.6	1.9	0.8	0.3	0.6	0.7

(注)1. 求人メディア『TOWNWORK』『fromA navi』に掲載された求人情報のうち、「アルバイト・パート」募集のもの。

2. 資料出所：株式会社リクルートジョブズ「アルバイト・パート募集時平均時給調査」より金属労協政策企画局で作成。

*2021年1月の工作機械受注総額は、前年同月比では改善傾向が続いているものの、2018年対比では、依然として6割程度で推移している。

工作機械受注総額の動向

年・月	受注総額(億円)	前年比増加率(%)	2018年=100
2018年	18,158	10.3	100.0
19	12,299	△ 32.3	67.7
20	9,018	△ 26.7	49.7
20年1月	808	△ 35.6	53.4
2	772	△ 29.6	51.0
3	774	△ 40.7	51.2
4	561	△ 48.3	37.1
5	512	△ 52.8	33.8
6	672	△ 32.1	44.4
7	698	△ 31.1	46.1
8	680	△ 23.2	44.9
9	841	△ 15.0	55.6
10	822	△ 6.0	54.3
11	887	8.6	58.6
12	991	9.9	65.5
21年1月	886	9.7	58.6

(注)1. 2018年=100の数値は、月の金額を12倍して算出した簡易なもの。

2. 資料出所：日本工作機械工業会資料より金属労協政策企画局で作成。

(オレンジ部分について、3月1日訂正)

*金属産業大手企業の2020年度通期業績予想は、売上高に関しては、2020年度上期決算発表時点において25社が上方修正となっていたが、4～12月期決算発表時点においても26社が上方修正されている。営業利益も、上期決算発表時点で30社、4～12月期決算発表時点では33社が上方修正されている。この結果、増益は6社から11社に増加し、黒字の企業は40社から42社となった。減益企業は32社から29社に減少し、うち4割程度以上の減益は、18社から13社に減少した。赤字企業は10社から8社に減少している。

金属産業大手51社の2020年度通期業績予想

(社)

売上高						営業利益						
増減		修正				増減		修正				
	前回	今回	前回	今回		前回	今回	前回	今回		前回	今回
増収	3	5	上方修正	25	26	増益	6	11	上方修正	30	33	
横ばい	0	0	修正なし	7	17	黒転	2	2	修正なし	6	15	
減収	47	45	下方修正	4	7	黒横ばい	0	0	下方修正	0	2	
上記計	50	50				減益	32	29				
						1割程度以下	5	4				
						2～3割程度	9	12				
						4～5割程度	12	6				
						6割程度以上	6	7				
						赤縮	3	3				
						赤転	6	4				
						赤拡	1	1				

(注)1. 前回は2020年度上期決算発表時、今回は2020年度4～12月期決算発表時の予想。

2. 資料出所：株探ホームページより金属労協政策企画局で作成。

以上